# 学術情報基盤作業部会における検討経緯

資料4 科学技術 · 学術審議会学術分科会 研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会 (第38回) 平成23年4月8日(金)

# 学術情報基盤の今後の在り方について(報告)(平成18年3月)

### 学術情報基盤としてのコンピュータ及びネットワーク の今後の整備の在り方

- ・コンピュータ等の設備、基盤的ソフトウエア、コンテンツ 及びデータベース、人材、研究グループそのものを超 高速ネットワーク上での共有(最先端学術情報基盤)
- ・大学等における学術情報基盤の整備
- 学術情報ネットワークの整備
- ・ハイ・パフォーマンス・コンピューティングの在り方 等

## 学術情報基盤としての大学図書館等の今後の整備 の在り方

- 大学図書館の戦略的位置付けの明確化
- ・電子化への積極的対応
- ・全国的基盤としての目録所在情報サービスの枠組み
- 大学図書館のサービス機能の強化とそれを担う人材 育成•確保 等

# 我が国の学術情報発信の今後の在り方

- ・研究成果情報の受・発信の国際的なアンバランス 状態の解消
- 学術雑誌の一層の品質向上の必要性
- 論文評価の適正化
- オープンアクセス運動への対応
- ・アーカイブ化への対応 等

学術情報基盤整備に関する対応方策等について(審議のまとめ)

-情報基盤センターの在り方及び学術情報ネットワークの今後の (平成20年12月)

- ・情報基盤センターにおける研究開発機能の強化
- ・情報基盤センターの共同利用・共同研究拠点の認定
- ・次期学術情報ネットワーク整備の基本方針 等



次期学術情報ネットワーク検討会 (研究振興局長私的諮問機関)

次期学術情報ネットワークの整備について(中間とりまとめ) (平成21年7月) -SINET3からSINET4への移行-

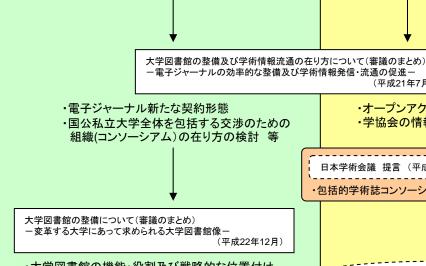
次期学術情報ネットワークの整備について(意見のとりまとめ) -SINET3からSINET4への移行-(平成22年7月)

- ・次期学術情報ネットワークの整備計画 等
- 国立情報学研究所の学術情報ネットワーク運営・連携本部に おいて当面の課題を検討

情報基盤センター等及び学術情報 ネットワークの在り方の検討

### 課題と考えられる点

- 学術情報ネットワーク(SINET4)の構築及びさらなる 高速化•高機能化
- HPCI構想や、今後の科学技術・学術動向を踏まえた 情報基盤センター等の在り方



オープンアクセス、機関リポジトリ

(平成21年7月)

·学協会の情報発信(NII、JST)

日本学術会議 提言 (平成22年8月

・包括的学術誌コンソーシアム

大学図書館の機能・役割及び戦略的な位置付け

・大学図書館職員の育成・確保

学術情報発信・流通の在り方の検討

多様化する学術・科学技術情報の一層の電子化 の推進、情報発信体制の強化 等

### 課題と考えられる点

- ・学術情報発信・流通推進のためのNII、JST、NDL及び大学図書館等の果たすべき 機能・役割と連携強化
- ・学協会等の情報発信・流通促進(学協会、NII及びJSTの連携による発信力の強化等)
- ・海外電子ジャーナルの効率的な整備のためのコンソーシアムの連携強化(現在進め られている方向性のフォローアップ)
- 機関リポジトリの整備・充実等オープンアクセスの推進
- 大学図書館の在り方(フォローアップ)

# (前期作業部会において出された主な意見等)

### 学術情報基盤としてのコンピュータ及びネットワーク の今後の整備の在り方

学術情報基盤としての大学図書館等の今後の整備 の在り方

我が国の学術情報発信の今後の在り方

#### 【全般】

- コンピューター、ネットワーク、大学図書館、学術情報発信・流通全般を視野に入れた学術情報基盤を巡る環境変化を踏まえた今後の対応方策
- 大学等機関内及び機関の枠を超えた学術情報基盤(ハード面及び学術情報(コンテンツ))のクラウド化
- O e-Scienceを踏まえた検討
- 初等中等教育を含めた学術情報基盤(ネットワーク、学術情報(コンテンツ))の整備

#### 【情報基盤センター等及び学術情報ネットワーク】

○ 大量データ共有が必要な研究への対応等、学術 情報基盤の整備に必要な研究開発(セキュリティ、 グリッド、認証基盤等)の検討

#### 【大学図書館】

○ 大学図書館における学術情報(コンテンツ)の電 子的展開(電子学術図書の導入・流通(循環)等) の在り方

#### 【学術情報発信・流通(循環)】

[学術情報(コンテンツ)の多様化]

- 〇 学術情報(コンテンツ)の電子化の推進
- 学術情報(コンテンツ)の多様化とメディア (情報端末を含む) の多様化による学術情報 受発信形態の変化(教科書や電子学術図書の 流通(循環)を含む)を踏まえた検討
- 研究成果の国際発信と社会へのわかりやすい 公開の在り方
- 〇 論文の評価の在り方

#### 【学術情報発信・流通(循環)】

#### 〔大学〕

- 大学等における教育研究活動の成果の発信の促進 (機関リポジトリ及び共用リポジトリの整備等)
- 大学等による信頼できる質の高い学術情報(コンテン ツ)の確保と発信の在り方
- 情報の受け手(一般及び児童・生徒等を含む)を考慮 した学術情報(コンテンツ)の整備と発信の在り方(研 究者以外が研究成果を理解できる補足情報を含めた データベースの整備・提供等)
- 教育における学術情報(コンテンツ)の活用手法の検 討 (教科書や電子学術図書の流通(循環)、情報端 末の多様化を踏まえた検討)【再掲】

### [オープンアクセスの推進等]

- オープンアクセスの推進
- 研究成果としての学術論文の機関リポジトリへの登載の促進
- オープンアクセスの推進を契機とした我が国の学術誌による情報発信の在り方の検討(国際競争力強化等)
- O NII、JST、NDL及び大学図書館等の果たすべき機能・役割と連携強化
- 公的資金助成を受けた研究成果のオープンアクセス化の促進の検討

#### [学協会]

- 3 我が国の学協会の情報発信力強化のため の学協会間の連携強化、学協会のグローバ ル化の促進
- 〇 学協会における学術誌による情報発信機能 の在り方とビジネスモデルの検討(アウトソー シングの可能性等も含む)